



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月5日

上場会社名 東り株式会社
 コード番号 7971 URL <http://www.toli.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 永嶋 元博
 (氏名) 荒木 陽三
 TEL 06-6494-6691

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	65,338	0.1	1,914	16.8	2,099	14.9	1,359	15.5
29年3月期第3四半期	65,422	0.3	2,299	14.4	2,466	15.0	1,609	21.4

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,120百万円 (13.0%) 29年3月期第3四半期 2,437百万円 (52.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	22.04	
29年3月期第3四半期	26.08	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	75,199	35,063	46.4
29年3月期	75,498	33,555	44.2

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 34,878百万円 29年3月期 33,376百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		2.00		8.00	10.00
30年3月期		2.00			
30年3月期(予想)				8.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,000	1.7	3,900	8.2	4,000	8.4	2,650	12.6	42.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	66,829,249 株	29年3月期	66,829,249 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	5,139,776 株	29年3月期	5,138,586 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	61,690,199 株	29年3月期3Q	61,691,898 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業業績を背景に設備投資の持ち直しや雇用環境の改善が見られるなど、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、不安定な欧米の政治情勢や地政学リスクの高まりによる世界経済への影響が懸念されるなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。インテリア業界では、首都圏を中心として東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた環境整備事業が本格化するものの新設住宅着工戸数が減少に転じ、また、昨年春より高騰している主要原材料価格が原油・ナフサ高の影響によりさらなる上昇基調にあるなど、経営環境は厳しいものとなりました。

このような状況の中、当社グループは中期経営計画「SHINKA-100」フェーズⅠの最終年度を迎えております。製品開発力や営業力を高めて成長戦略を推し進めるとともに、製造現場でのコストダウンや販管費の縮減に努め、収益性の向上を図ってまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は65,338百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益は1,914百万円（前年同期比16.8%減）、経常利益は2,099百万円（前年同期比14.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,359百万円（前年同期比15.5%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、セグメント間の取引を含めて表示しております。

<プロダクト事業>

塩ビ床材では、昨年5月に発売したワックスメンテナンスが長期間不要のビニル床シート「フロアリューム プレミア NWシリーズ」のPRに努めた結果、早期の市場浸透が図られ、売上に寄与しました。カーペットでは、ホテル需要を中心にロールカーペットが好調を維持しました。また、昨年10月にはタイルカーペットの主力商品「GA-100シリーズ」を大幅刷新し、汎用タイプでありながら高意匠の「GA-100T」を発売しました。全国的なプロモーション展開にて各方面より高いご評価を頂き、順調に売上を伸ばしております。壁装材では「不燃認定壁紙1000」や不燃化粧仕上げ材「リアルデコ」などが引き続き堅調に推移しました。カーテンは昨年6月に発売した「エルエア」の積極的な販促活動が奏功しましたが、カーテン全体では前年同期を下回りました。

これらの結果、プロダクト事業の売上高は39,583百万円（前年同期比0.7%減）、セグメント利益は1,784百万円（前年同期比11.5%減）となりました。

<インテリア卸及び工事業業>

インテリア卸事業では、当年度新製品を中心に内装材受注の拡大に努めましたが、ブラインド等のインテリア金物の売上が伸び悩みました。工事業業では、大型物件の受注が増加し、売上は前年同期を上回りました。

これらの結果、インテリア卸及び工事業業の売上高は42,370百万円（前年同期比0.0%増）、セグメント利益は473百万円（前年同期比21.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産については、季節変動に伴う売上債権の減少等により、前期末に比べ298百万円減少し、75,199百万円となりました。

負債については、法人税等の支払いによる未払法人税等の減少等により、前期末に比べ1,806百万円減少し、40,136百万円となりました。

純資産については、利益剰余金の増加等により、前期末に比べ1,508百万円増加し、35,063百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年11月1日公表の業績予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,413	9,752
受取手形及び売掛金	27,046	24,327
商品及び製品	6,933	7,964
仕掛品	1,108	1,494
原材料及び貯蔵品	1,443	1,653
繰延税金資産	475	208
その他	863	1,409
貸倒引当金	△224	△130
流動資産合計	48,059	46,680
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,148	6,117
機械装置及び運搬具(純額)	2,115	2,631
工具、器具及び備品(純額)	235	357
土地	9,075	9,088
建設仮勘定	696	553
その他(純額)	67	71
有形固定資産合計	18,339	18,820
無形固定資産		
ソフトウェア	234	207
その他	494	559
無形固定資産合計	728	766
投資その他の資産		
投資有価証券	5,693	6,657
繰延税金資産	435	196
その他	2,372	2,202
貸倒引当金	△130	△122
投資その他の資産合計	8,370	8,932
固定資産合計	27,438	28,519
資産合計	75,498	75,199

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,809	22,415
短期借入金	1,550	950
未払法人税等	933	122
未払費用	1,580	1,520
賞与引当金	797	207
その他	2,215	2,422
流動負債合計	29,886	27,638
固定負債		
長期借入金	5,305	5,805
環境対策引当金	27	27
退職給付に係る負債	4,094	4,109
その他	2,628	2,555
固定負債合計	12,056	12,497
負債合計	41,943	40,136
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,855	6,855
資本剰余金	6,423	6,423
利益剰余金	19,377	20,127
自己株式	△1,121	△1,122
株主資本合計	31,534	32,284
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,029	2,689
為替換算調整勘定	—	0
退職給付に係る調整累計額	△187	△96
その他の包括利益累計額合計	1,841	2,594
非支配株主持分	178	185
純資産合計	33,555	35,063
負債純資産合計	75,498	75,199

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	65,422	65,338
売上原価	46,573	46,667
売上総利益	18,848	18,671
販売費及び一般管理費	16,549	16,757
営業利益	2,299	1,914
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	121	142
仕入割引	60	59
その他	183	157
営業外収益合計	369	361
営業外費用		
支払利息	68	62
売上割引	103	100
その他	30	13
営業外費用合計	202	176
経常利益	2,466	2,099
特別利益		
固定資産売却益	2	—
投資有価証券売却益	—	2
特別利益合計	2	2
特別損失		
固定資産除却損	19	40
固定資産売却損	—	14
特別損失合計	19	54
税金等調整前四半期純利益	2,449	2,047
法人税、住民税及び事業税	588	444
法人税等調整額	236	235
法人税等合計	825	680
四半期純利益	1,624	1,367
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,609	1,359

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,624	1,367
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	695	660
為替換算調整勘定	—	0
退職給付に係る調整額	117	91
その他の包括利益合計	812	752
四半期包括利益	2,437	2,120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,421	2,112
非支配株主に係る四半期包括利益	15	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	プロダクト 事業	インテリア卸 及び工事事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,350	42,071	65,422	—	65,422
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16,498	290	16,789	△16,789	—
計	39,849	42,361	82,211	△16,789	65,422
セグメント利益	2,016	602	2,619	△152	2,466

(注)1 セグメント利益の調整額△152百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	プロダクト 事業	インテリア卸 及び工事事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,220	42,118	65,338	—	65,338
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16,362	252	16,614	△16,614	—
計	39,583	42,370	81,953	△16,614	65,338
セグメント利益	1,784	473	2,257	△158	2,099

(注)1 セグメント利益の調整額△158百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。